

米国 00年7月以来の大幅減少（08年10月製造業受注）

発表日：2008年12月5日（金）

～機械・ソフトウェア投資はマイナス幅の拡大が予想される～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛（おおみさわ たけし）

03-5221-4526

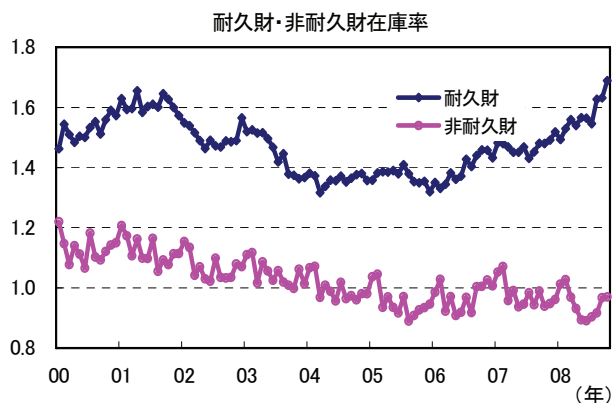
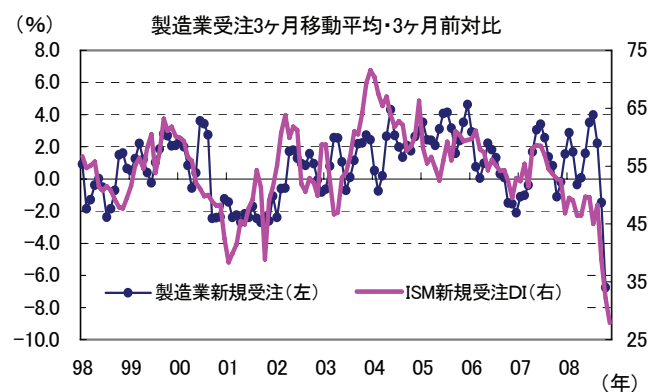
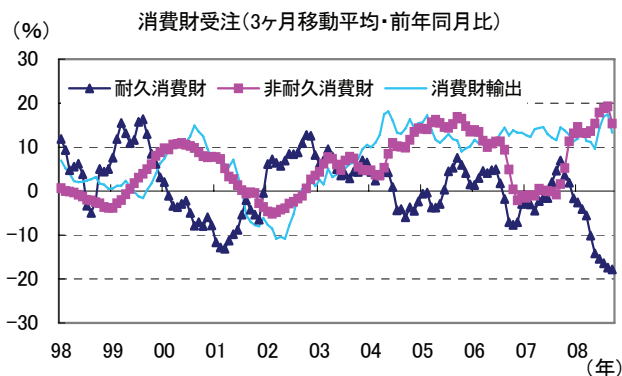
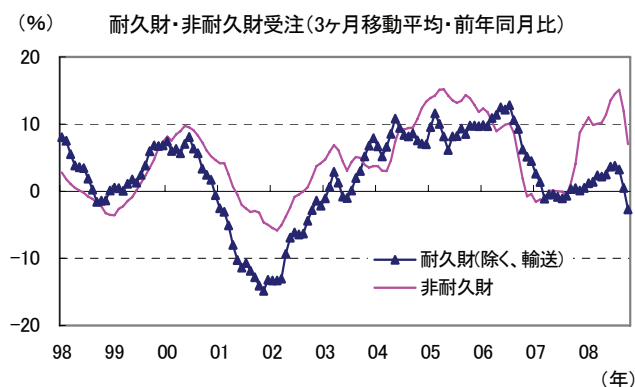
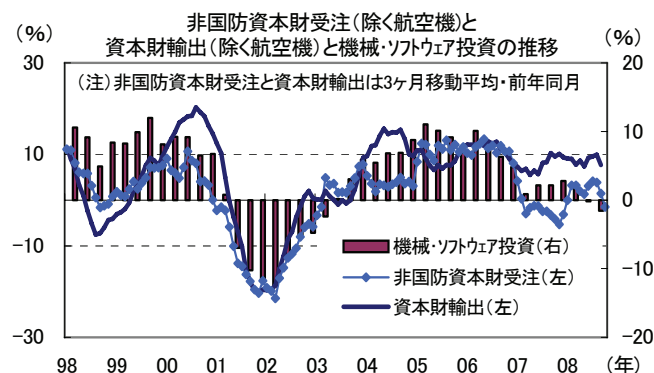
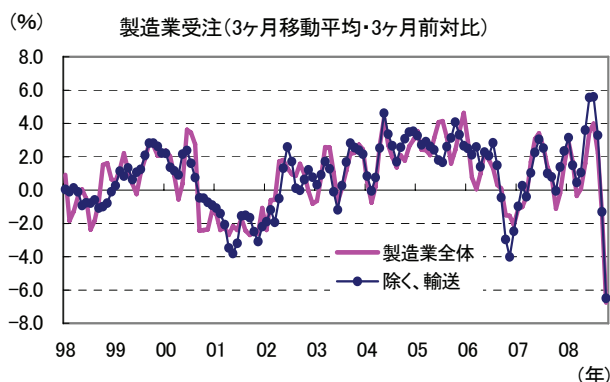
- 10月の製造業受注は前月比▲5.1%（前年同月比▲5.3%）と、世界的な景気減速による内外需要の減速と国際商品価格の下落により、00年7月以来のマイナス幅となった。減少ペースも前月同▲3.1%（同+0.9%）から加速している。変動の大きい輸送機器を除くと、前月比▲4.2%（前年同月比▲2.5%）と前月同▲4.3%（同+3.1%）に続き大幅に受注額が減少した。耐久財、非耐久財について、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で基調をみると、耐久財は▲6.9%（前月▲2.9%）、非耐久財は前月比▲6.6%（前月▲0.9%）と減少ペースが加速した。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比▲5.0%（前年同月比▲4.5%）と前月同▲3.4%（同▲1.7%）、前々月同▲2.3%（同+1.6%）と受注の減少ペースが加速しており、08年10-12月期、09年1-3月期にかけて、機械・ソフトウェア投資はマイナス幅の拡大が予想される。08年内の設備投資を対象とした減税による駆け込み需要が期待されたが、世界的な景気減速による輸出需要の減速、企業のマインド悪化、金融機関による融資基準の厳格化により、その効果は限定的なものに留まるとみられる。
- 耐久財受注を財別にみると、一次金属が前月比▲15.3%（前月同▲5.9%）、加工金属が同▲2.0%（同▲0.9%）、機械が同▲9.0%（同+0.2%）と金属価格の下落と需要減速によりマイナス幅が大幅に拡大した。コンピューター・電子製品は同▲3.4%（同▲2.5%）、電気製品・同部品が同▲5.0%（同▲1.1%）、と価格低下と販売不振により受注が減少、輸送機器は同▲11.2%（同+%5.5%）と深刻な自動車販売不振と航空機・同部品の低迷により受注は大幅に減少した。家具・同関連製品は同▲5.0%（同▲6.5%）と住宅販売の不振、消費減速を背景に低迷が続いている。
- 新規受注の減少により耐久財、非耐久財とも在庫率が上昇基調にある。特に耐久財は07年後半から上昇基調が続き01年を上回る水準に達しており、今後、耐久財の生産調整が深まることが示唆される。
- 今後の製造業受注だが、世界的な景気減速による海外需要の減速と、融資基準の厳格化、雇用環境の悪化、消費者マインドの悪化による個人消費の低迷、企業向け融資基準の厳格化と企業収益悪化による設備投資の落ち込みが鮮明化しており、11月の製造業景況感指数の新規受注、輸出受注が急速に低下していることから、足元で受注の減少は加速しているとみられる。また、急速な景気悪化により企業の投資意欲も低迷し、08年中の設備投資に対する減税による下支え効果も限定的に留まるとみられる。09年1-3月期にかけても外需の減速、雇用環境、消費者マインド悪化による個人消費の低迷、企業収益低迷による設備投資の抑制など下押し圧力が続くとみられ、製造業受注は前期比でマイナスが予想される。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業		非国防資本財	製造業		非国防資本財		除く輸送機器	除く航空機	製造業		非国防資本財
		除く輸送機器	除く航空機								除く輸送機器	除く航空機
07/11	+1.9	+2.2	+0.6	+1.8	(+5.3)	+1.9	(+6.9)	+0.0	(▲5.0)	+0.7	+0.5	+0.5
07/12	▲0.6	▲0.4	+1.1	+1.9	(+5.7)	+0.6	(+5.4)	+4.5	(+0.2)	+0.8	+0.5	+0.4
08/01	+1.1	+0.7	▲0.4	▲2.4	(+7.3)	▲0.4	(+8.1)	▲0.8	(+5.0)	+1.3	+1.3	+0.5
08/02	▲1.9	▲1.6	▲1.3	▲0.4	(+5.1)	▲1.6	(+5.3)	▲0.9	(+4.5)	+0.6	+0.5	+0.6
08/03	+1.1	+1.9	+0.8	+1.5	(+4.2)	+2.6	(+6.9)	▲1.0	(+0.1)	+0.9	+0.8	+1.3
08/04	+2.7	+2.9	+1.0	+1.3	(+4.0)	+2.8	(+8.1)	+3.1	(+1.3)	▲0.0	▲0.2	+0.4
08/05	+0.3	+0.9	+0.2	+0.9	(+5.4)	+0.8	(+7.9)	▲0.3	(+2.5)	+0.6	+0.5	+0.1
08/06	+1.9	+1.9	+0.6	+2.1	(+7.5)	+2.7	(+12.1)	+1.6	(+5.5)	+1.2	+1.3	+0.5
08/07	+1.4	+1.3	+0.3	+0.7	(+4.7)	+0.5	(+10.0)	+0.3	(+4.3)	+0.6	+0.5	+0.6
08/08	▲3.7	▲3.1	▲2.1	▲4.3	(+3.9)	▲3.6	(+8.2)	▲2.3	(+1.6)	+0.7	+0.7	+0.7
08/09	▲3.1	▲3.8	+1.7	▲3.1	(+0.9)	▲4.3	(+3.1)	▲3.4	(▲1.7)	▲0.8	▲0.9	+0.1
08/10	▲3.2	▲2.9	▲3.5	▲5.1	(▲5.3)	▲4.2	(▲2.5)	▲5.0	(▲4.5)	▲0.6	▲1.0	+0.3

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。